

# GRYPHON-D432 & POWERSCAN8500

バーコードメニューシート Ver1.03

## 1 はじめに

---

このたびはデータロジック社製ハンドヘルド2次元バーコードリーダGryphonD432/D432E 又はPowerScan8500シリーズ（以降2次元リーダで表記します）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本設定メニューシートでは2次元バーコードリーダの各種パラメータ設定に基づく内容を記載しておりますので、ご一読いただきますようお願いいたします。この設定バーコードを使う事により2次元バーコードリーダの設定の変更が可能です。設定バーコードの読み取りを行うときは、近くのコードを間違えて読み取らないよう注意して下さい。

※このメニューシートは以下のソフトウェアバージョンに適合します。バージョンは予告なくアップグレードされる場合がございますので、その時はこのメニューシートの改訂が必要になる場合があり、改訂に遅れる場合もございますが、予め了承願います。

Gryphon D432 software release 1.02

POWERSCAN D8530 1.01.000

## 2 ご注意

---

- ①本書の内容の全部または一部を無断で転載することは禁止されています。
- ②本書の内容に関しては改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- ③本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末記載の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願いいたします。
- ④運用した結果の影響については③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤本書は設定メニューシートになりますが、2次元バーコードリーダのすべての設定変更ができるわけではなく、最低必要不可欠な設定内容のみを選んで表記しています。

## 3 目次

---

RS232 インターフェイスの設定	1
USB インターフェイスの設定	5
キーボードウエッジの設定	11
データフォーマットの設定	14
カメラコントロールの設定	20
読み取りコードの設定	21
1次元コードの読み取り登録設定	22
2次元コードの読み取り登録設定	31
リーディングパラメータの設定	36
読み取りコード出力順番設定	39
自動スキャンの設定	40
ASCII キャラクタ配列表	44
英数字コード	45
テスト用バーコード	48
初期設定値	50

# RS232 インターフェイスの設定

下記の手順に従って、RS232 インターフェイスの設定を行って下さい。

1. 下記の図1の様に、2次元バーコードリーダーとRS232 ケーブルと AC アダプタを接続して下さい。



図 1 - RS232 インターフェイスでの接続例

2. 設定を初期設定に戻す。

設定を初期設定に戻す



3. RS232 インターフェイス。

RS232



設定開始



RS232

セーブ



---

## RS232 インターフェイスの設定

---

### 通信ボーレートの設定

---

1200 bps



2400 bps



4800 bps



9600 bps



14400 bps



19200 bps



38400 bps



57600 bps



115200 bps



設定開始



RS232

セーブ



---

パリティの設定

---

パリティ無し



奇数(ODD)パリティ



偶数(EVEN)パリティ



---

データビット長の設定

---

7 ビット



8 ビット



---

ストップビット長の設定

---

1 ビット



2 ビット



---

ACK/NAK プロトコルの設定

---

ACK/NAK を無効にする



ACK/NAK を有効にする



設定開始



RS232

セーブ



---

### 受信タイムアウトの設定

---

受信タイムアウトの設定



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる  
数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効  
01-99 = 1~99s

注:数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

---

### ハンドシェイクの設定

---

ノープロトコル(無手順)



XON/XOFF



RTS/CTS



---

### FIFO 機能の設定

---

FIFO 機能を無効にする



FIFO 機能を有効にする



---

### キャラクタ間ディレーの設定

---

キャラクタ間ディレー



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる  
数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効  
01-99 = 1~99ms

注:数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

## コード間ディレーの設定

コード間ディレー



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効

01-99 = 1~99 s

注: 数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

## USB インターフェイスの設定

下記の手順に従って、USB インターフェイスの設定を行って下さい。

1. 下記の図2の様に、2次元バーコードリーダーと USB ケーブルを接続して下さい。  
(電源容量が足りない場合は2次元バーコードリーダー専用アダプタをご使用下さい。)



図 2 - USB インターフェイスでの接続例

2. 設定を初期設定に戻す。

設定を初期設定に戻す



3. USB インターフェイスには下記の4つの選択が可能です。

USB-COM



USB-KBD



USB BULK



USB Generic HID



設定開始



セーブ



USB

---

USB COM インターフェイスの設定

---

ハンドシェイクの設定

---

ノープロトコル(無手順)



XON/XOFF



RTS/CTS



---

ACK/NACK プロトコルの設定

---

ACK/NAK を無効にする



ACK/NAK を有効にする



---

FIFO 機能の設定

---

FIFO 機能を無効にする



FIFO 機能を有効にする



設定開始



USB

セーブ



---

### キャラクタ間ディレーの設定

---

キャラクタ間ディレーの設定



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる  
数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効

01-99 = 1~99ms

注:数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

---

### コード間ディレーの設定

---

コード間ディレーの設定



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる  
数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効

01-99 = 1~99s

注:数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

---

### 受信タイムアウトの設定

---

受信タイムアウトの設定



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる  
数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効

01-99 = 1~99s

注:数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

設定開始



USB

セーブ



## USB キーボードインターフェイスの設定

### FIFO 機能の設定

無効



有効



### キャラクタ間ディレーの設定

キャラクタ間ディレーの設定



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効

01-99 = 1~99ms

注:数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

### コード間ディレーの設定

コード間ディレーの設定



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効

01-99 = 1~99s

注:数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

設定開始



セーブ



USB

---

キーボード言語の設定

---

Belgian



English



French



German



Italian



Japanese



Spanish



Swedish



USA



設定開始



USB

セーブ



---

USB 通信スピードの設定

---

Normal



Fast



設定開始



WEDGE

セーブ



## キーボードウエッジインターフェイスの設定

下記の手順に従って、キーボードウエッジインターフェイスの設定を行って下さい。

1. 下記の図 3 の様に、2 次元バーコードリーダーとキーボードウエッジケーブルを接続して下さい。  
その後 パソコンの電源を立ち上げて下さい。



図 3 - キーボードウエッジでの接続例

2. 設定を初期設定に戻す。

初期設定



3. Wedge IBM AT インターフェイス。

Wedge - IBM AT



設定開始



WEDGE

セーブ



## キーボードウェッジインターフェイスの設定

### CAPS LOCK 機能の設定

Caps Lock を Off にする



Caps Lock を On にする



### CAPS LOCK 自動検出機能の設定

無効



有効



注意: CAPS LOCK 自動検出機能が有効になっているときは、CAPS LOCK 機能の設定を行う必要がありません。

### NUM LOCK キーの設定

Num Lock キーを変更しない



Num Lock キーを変更する



### キャラクタ間ディレーの設定

キャラクタ間ディレーの設定



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効

01-99 = 1~99ms

注: 数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

設定開始



WEDGE

セーブ



---

**コード間ディレーの設定**

---

コード間ディレーの設定



左記のコードを読ませた後、P45 から始まる  
数字コード(00~99)を入力します。

00 = 無効

01-99 = 1~99s

注:数字コードは必ず2桁で入力して下さい。

---

**キーボード言語の設定**

---

キーボードタイプに対応する下記コードを読ませます。

Belgian



English



French



German



Italian



Japanese



Spanish



Swedish



USA



設定開始



DATA FORMAT

セーブ



## データフォーマットの設定

データフォーマットの設定パラメータは、下記の方法で初期設定値に戻すことができます。

- 1) “初期設定”はデータフォーマットを含めすべてのパラメータの設定を初期値に戻します。
- 2) “データフォーマット初期設定”はデータフォーマットのみを設定を初期設定値に戻します。
- 3) インターフェイス選択コードを読ませると、ヘッダー・ターミネータの設定のみ初期設定値に戻ります。

### データフォーマットの初期設定

データフォーマット初期設定



### コードID付加機能の設定

コード ID 付加しない



コード ID 付加(カスタム ID)



コード ID 付加(AIM 標準)



設定開始



セーブ



DATA FORMAT

---

**カスタムコードIDキャラクタの設定**


---

**カスタムコード ID 設定**

1. P42 のコード ID からバーコードの種類を選択してそのコードを入力します。
2. 登録したいキャラクタ数を P45 から始まる数字コード(0-3)で入力します。(0 はコード ID の設定が無効となります。)
3. 登録したいキャラクタを P44 の ASCII キャラクタ配列表から選んで、P45～P47 英数字コードを入力して下さい。選択範囲は 00～7F です。

注:キャラクタ数を選定する数字コードは必ず 1 桁登録します。

例) JAN コードのカスタム ID を JP と定めるならば、

“コード ID 付加(カスタム ID)”を入力。

“カスタムコード ID 設定”を入力。

P42 ページの“EAN/UPC/JAN”コードを入力。

P45～47 の数字コードから“2”を入力し、“4A” と”50”を入力。

---

**桁数付加機能の設定**


---

桁数を付加しない



桁数を付加する



注:桁数データは読み取りデータの先頭に付加されます。

例)上記の例に引き続き、JAN コードのカスタム ID を JP とし、更に桁数を付加するならば、以下のようなデータ出力になります。

JP134514687100039

設定開始



セーブ



DATA FORMAT

### ヘッダーキャラクタの設定

#### ヘッダーキャラクタの設定



1. ヘッダーキャラクタの設定コードを入力します。
2. 登録するヘッダーキャラクタ数を選択します。P45 から始まる数字コードを入力します。キャラクタ数の範囲は 0～10 です。
3. 登録する各キャラクタの設定は英数字 2 桁の hex コードにて入力を行います。登録可能なキャラクタは RS232、USB BULK、USB COM、USB Generic HID インターフェイスの場合、00hex～7Fhex で、キーボードウエッジと USB キーボードインターフェイスの場合は 00hex～9B hex となっています。
4. 最後にヘッダーキャラクタ登録のコードで有りを選択するヘッダーの登録が可能になります。

注:キャラクタ数を選定する数字コードは必ず 2 桁で入力して下さい。

例) STX を登録する場合

“ヘッダーキャラクタの設定”を入力。

キャラクタ数が 1 つなので、下記の数字コードから “01” を入力。

P44 の ASCII キャラクタ表で STX は “02” なので入力。

“ヘッダーキャラクタ有り” を入力。

0



1



2



3



4



5

6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



ヘッダキャラクター登録の設定

ヘッダキャラクター無し



ヘッダキャラクター有り



設定開始



セーブ



DATA FORMAT

## ターミネータキャラクタの設定

ターミネータキャラクタの  
設定

1. ターミネータキャラクタの設定コードを入力します。
2. 登録するヘッダーキャラクタ数を 00-10 の範囲から選択し、数字のコードを入力します。
3. 登録する各キャラクタの設定は英数字 2 桁の hex コードにて入力します。登録可能なキャラクタは RS232、USB BULK、USB COM、USB Generic HID インターフェイスの場合、00hex~7Fhex で、キーボードウエッジと USB キーボードインターフェイスの場合は 00hex~9B hex となっています。
4. 最後にターミネータキャラクタの登録のコードで有りを選択するとヘッダーの登録が可能になります。

注:キャラクタ数を選定する数字コードは必ず 2 桁登録します。

例)@P を登録する場合

“ターミネータキャラクタの設定”を入力。

キャラクタ数が 2 つなので、下記の数字コードから “02” を入力。

P44 の ASCII キャラクタ表では@P は“40”と“50”なのでそれぞれ入力。

“ターミネータキャラクタ有り”を入力。

0



1



2



3



4





ターミネータキャラクタ登録の設定

ターミネータキャラクタ無し



ターミネータキャラクタ有り



設定開始



CAMERA  
CONTROL

セーブ



---

## カメラコントロールの設定

---

### 露光モードの設定

---

固定モード



自動モード1

(画像全体に焦点を合わせる)



自動モード2

(画像の中心に焦点を合わせる)



自動モード3

(表面反射の高い対象物)



---

### カメラ キャリブレーション

---

キャリブレーション



正しい露光値にキャリブレーション(校正)します。(但し固定モード選択時のみ有効)※この設定は永久にリーダへ保存されます。

設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



## 読み取りコードの設定

---

全てのバーコード設定を無効



全ての一次元バーコード設定を無効



全ての二次元バーコード設定を無効



設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



# 一次元コードの読み取り登録設定

## UPC/EAN/JAN コードの設定

EAN/UPC/JAN コード

読み取り無効



EAN/UPC/JAN コード

読み取り有効



アドオンコード

読み取り無効



アドオンコード

読み取り有効



UPC-A UPC-E コード

読み取り無効



UPC-A UPC-E コード

読み取り有効



設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



---

CODE 39 の設定

---

CODE39 の読み取り

無効



CODE39 CD 無し

読み取り



CODE 39 CD 有り送信禁止



CODE 39 CD 有り送信許可



設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



CODE 39 フル ASCII

無効



Code 39 フル ASCII

有効



桁数チェック フリー



桁数設定 有効



最小桁数の設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。.

最大桁数の設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

スタート/ストップコード

送信禁止



スタート/ストップコード

送信許可



注: 桁数設定を行う場合、数字コードは必ず 3 桁で入力して下さい。

設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ




---

CODE 32 の設定

---

CODE 32 読み取り 無効



CODE 32 読み取り 有効




---

2 OF 5 コードの設定

---

インターリーブ 2/5 無効



インターリーブ 2/5 CD 無し



インターリーブ 2/5  
CD 有り送信禁止



インターリーブ 2/5  
CD 有り送信許可



桁数フリー



桁数設定 有効



最小桁数の設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

最大桁数の設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

注: 桁数設定を行う場合、数字コードは必ず 3 桁で入力して下さい。

設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



---

CODABAR(NW7)コードの設定

---

CODABAR の読み取り 無効



CODABAR CD 無し 有効



CODABAR CD 有り送信禁止



CODABAR CD 有り送信許可



桁数フリー



桁数設定 有効



最小桁数の設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

最大桁数の設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

注: 桁数設定を行う場合、数字コードは必ず 3 桁で入力して下さい。

設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



CODE 128 コード の設定

CODE128 の読み取り  
無効



CODE128 の読み取り  
有効



桁数フリー



桁数設定 有効



CODE128 最小桁数の  
設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

CODE128 最大桁数の  
設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

注: 桁数設定を行う場合、数字コードは必ず 3 桁で入力して下さい。

設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



---

EAN 128 コード の設定

---

EAN 128 の読み取り 無効



EAN 128 の読み取り 有効



EAN 128 桁数フリー



桁数設定 有効



EAN 128 最小桁数の設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

最大桁数の設定



001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

注: 桁数設定を行う場合、数字コードは必ず 3 桁で入力して下さい。

設定開始

CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



## CODE93 コードの設定

コード 93 の読み取り 無効



コード 93 の読み取り 有効



桁数チェックフリー



桁数チェック 有効



最小桁数の設定

001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

最大桁数の設定

001-255 の範囲の数字  
コードを入力します。

注: 桁数設定を行う場合、数字コードは必ず 3 桁で入力して下さい。

設定開始



CODE SELECTION  
1D Symbologies

セーブ



---

GS1 DataBar コードの設定

---

GS1 DataBar Expanded  
の読み取り無効



GS1 DataBar Expanded  
の読み取り有効



GS1 DataBar Limited  
の読み取り無効



GS1 DataBar Limited  
の読み取り有効



GS1DataBar Omnidirectional  
の読み取り無効



GS1DataBar Omnidirectional  
の読み取り有効



GS1DataBar Expanded Stacked  
の読み取り無効



GS1DataBar Expanded Stacked  
の読み取り有効



GS1 DataBar Stacked  
の読み取り無効



GS1 DataBar Stacked  
の読み取り有効



設定開始

CODE SELECTION  
2D Symbologies

セーブ



## 二次元コードの読み取り登録設定

### PDF417 コードの設定

PDF417 の読み取り無効



PDF417 の読み取り有効



Macro PDF417

バッファモード無効



Macro PDF417

バッファモード有効



下記の設定バーコードは特別な機能を有しており、設定開始に移らなくても設定変更が可能です。“セーブ”コードを入力する必要もありません。

Macro PDF417

バッファモードの停止



### MICRO PDF417 コードの設定

マイクロ PDF417 の  
読み取り無効マイクロ PDF417 の  
読み取り有効

設定開始



CODE SELECTION  
2D Symbologies

セーブ



---

### DATA MATRIX コードの設定

---

Data Matrix コードの  
読み取り無効



Data Matrix コードの  
読み取り有効



最小読み取り桁数の設定



0001-3600 の範囲の数字  
コードを入力します。

最大読み取り桁数の設定



0001-3600 の範囲の数字  
コードを入力します。

Rectangular Style - 無効



Rectangular Style - 有効



注: 桁数設定を行う場合、数字コードは必ず 4 桁で入力して下さい。

---

### QR コードの設定

---

QR コードの読み取り  
無効



QR コードの読み取り  
有効



設定開始



CODE SELECTION  
2D Symbologies

セーブ



---

郵便コードの設定

---

すべての郵便コードの

読み取り無効



Australian Post 有効



Japan Post 有効



PLANET 有効



POSTNET 有効



POSTNET with B and B'  
有効



POSTNET and PLANET  
有効



POSTNET with B and B'  
and PLANET 有効



KIX Code 有効



Royal Mail Code (RM4SCC)  
有効



設定開始



セーブ



CODE SELECTION  
2D Symbologies

MAXICODE の設定

Maxicode モード 0 無効



Maxicode モード 0 有効



Maxicode モード 1 無効



Maxicode モード 1 有効



Maxicode モード 2 無効



Maxicode モード 2 有効



Maxicode モード 3 無効



Maxicode モード 3 有効



Maxicode モード 4 無効



Maxicode モード 4 有効



Maxicode モード 5 無効



Maxicode モード 5 有効



Maxicode モード 6 無効



Maxicode モード 6 有効



設定開始



CODE SELECTION  
2D Symbologies

セーブ



---

### コンポジットコードの設定

---



注意

このコンポジットコードの設定を行う前に、RSS コード、EAN128、UPC/JAN コードの読み取り設定を有効にする必要があります。

コンポジットコード無効



コンポジットコード有効



設定開始



READING  
PARAMETERES

セーブ



## リーディングパラメータの設定

トリガースイッチの動作モードの設定  
(ハードウェアモードの設定時のみ)

レベルモード



パルスモード



トリガースイッチの設定

ハードウェアトリガーモード



ソフトウェアトリガーモード



照明 ON と OFF の時間の設定

照明の ON 時間



2次元バーコードリーダーがトリガースイッチを使用しない場合(ソフトウェアトリガーモード)、LEDの点灯している時間の設定をします。01～99sの範囲まで設定可能です。

照明の OFF 時間



2次元バーコードリーダーがトリガースイッチを使用しない場合(ソフトウェアトリガーモード)、LEDの消灯している時間の設定をします。01～99sの範囲まで設定可能です。

注:この設定を行う場合、数字コードは必ず2桁で入力して下さい。

設定開始



READING  
PARAMETERES

セーブ




---

ブザー音程の設定

音程 1



音程 2



音程 3



音程 4




---

ブザー音量の設定

ブザー音 無し



ブザー音(小)



ブザー音(中)



ブザー音(大)




---

ブザー音の長さの設定

ブザー音の長の設定



長さの範囲は 01-99ms と  
なっています。

注意: 数字コードは必ず  
2桁で入力して下さい。

設定開始



READING  
PARAMETERES

セーブ




---

読み取りサイクルの設定

シングルリーディング



マルチリーディング



---

スキャンタイムアウトの設定

---

スキャンタイムアウトの設定



デコーディングが成立するまでスキャンする時間の設定となります。時間の範囲は01-99sとなります。

注意: 数字コードは必ず2桁で入力して下さい。

---

ポインターとLED照明点灯までの間隔設定

---

無効



間隔(小)



間隔(中)



間隔(大)



---

読み取り完了時のグリーンスポット光の点灯時間設定

---

点灯無し



点灯時間(短)



点灯時間(標準)



点灯時間(長)



設定開始

READING  
PARAMETERES

セーブ



## 読み取りコードの出力順番設定

### CODE PER SCAN 設定

One Code per Scan 設定



All Codes per Scan 設定



All Codes per Scan の設定は 1 スキャンに読み取りエリア内にあるすべてのバーコードの読み取り設定ができます。

### 桁数によるデータ出力の順番設定 (ALL CODES PER SCAN の設定時のみ有効)

無効



有効 (桁数の小から大)



有効 (桁数の大から小)



### コードの種類によるデータ出力の順番設定 (ALL CODES PER SCAN の設定のみ有効)

バーコードの順番設定



1. “バーコードの順番設定”のコードを読ませます。
2. 同時に読ますバーコードの数を登録します。0 から 9 まで登録が可能です。
3. 付録のコードID表からバーコード種類を選んで下さい。

設定開始



READING  
PARAMETERES

セーブ



## 自動スキャンの設定

### 自動スキャンモードの設定

無効



有効



ポインターのみ自動発光



注意

下記コードは One Code per Scan の設定のみ有効です。

### セーフティタイマーの設定

セーフティタイマー無効



セーフティタイマー有効



このタイマーは自動スキャンモードが有効か又はソフトウェアトリガーモードが有効で、尚且つ読み取りサイクルのマルチプルリード設定が有効である事が前提です。

設定開始

READING  
PARAMETERES

セーブ



---

### セーフティタイマーの時間設定

---

セーフティタイマーの時間設定



2次元バーコードリーダが同一のバーコードを2度読み防止する時間の設定をします。設定は0.1～9.9secの範囲で設定可能です。

---

### 読み取りスタンドモードの設定

---

読み取りスタンドモードの

無効



読み取りスタンドモードの

有効



注: 初期設定値では、2次元バーコードリーダをスタンドに取り付けると、自動的読み取りモードに移りますが、“読み取りスタンドモードの無効”を登録しておくと、スタンドでの自動読み取りはできません。

コード ID

---

EAN/UPC/JAN



CODABAR



CODE 128



EAN 128



CODE 93



CODE 32



CODE 39



ITF 2 OF 5



PDF417



MICRO PDF417



**DATAMATRIX**



**MAXICODE**



**QR**



**AUSTRALIA  
POST**



**JAPAN POST**



**POSTNET**



**PLANET**



**GS1 DataBar**



**KIX CODE**



**RM4SCC**



## ASCII キャラクタ配列表

(00hex~7Fhex)

下位桁 上位桁	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SPACE	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

特殊キー配列表 (83hex~98hex)

HEX	キー	HEX	キー	HEX	キー	HEX	キー	HEX	キー
83	ENTER	88	F4	8D	F9	92	END	97	←
84	TAB	89	F5	8E	F10	93	PG UP	98	→
85	F1	8A	F6	8F	F11	94	PG DOWN	99	ESC
86	F2	8B	F7	90	F12	95	↑	9A	CTRL (Right)
87	F3	8C	F8	91	HOME	96	↓	9B	

英数字コード

---

0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



## テスト用バーコード

EAN-13



Code 39 (Standard)



Code 128



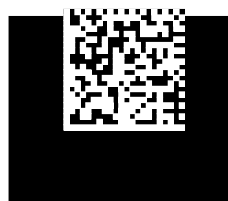
QR



DataMatrix (Normal)



DataMatrix (Inverse)



## 初期設定値 TE

設定項目	初期設定値
<b>RS232 インターフェイスの設定</b>	
通信ボーレートの設定	115200
パリティ、データビット長、ストップビット長の設定	パリティ無し、8 データビット、1 ストップビット
ハンドシェイクの設定	無効
ACK/NACK プロトコルの設定	無効
FIFO 機能の設定	有効
キャラクタ間ディレーの時間	0 ms
コード間ディレーの時間	0 s
<b>USB COM インターフェイスの設定</b>	
ハンドシェイクの設定	無効
ACK/NACK プロトコルの設定	無効
FIFO 機能の設定	有効
キャラクタ間ディレーの時間	0 ms
コード間ディレーの時間	0 s
<b>USB キーボードウエッジインターフェイスの設定</b>	
FIFO 機能の設定	有効
キャラクタ間ディレーの時間	0 ms
コード間ディレーの時間	0 s
*キーボード言語の設定	USA キーボード
*キーボードスピード	Normal
<b>キーボードウエッジインターフェイスの設定</b>	
*キーボード言語の設定	USA キーボード
CAPS LOCK 機能の設定	OFF
CAPS LOCK 自動検出機能の設定	有効
NUM LOCK キーの設定	Num Lock キーを変更しない
キャラクタ間ディレーの時間	0 ms
コード間ディレーの時間	0 s

\* インターフェイスの選択を行った後、各パラメータは初期設定値に設定されています。

<b>データフォーマットの設定</b>	
コード ID 設定	コードID付加しない
カスタムコード ID 設定	無効
コード桁数送信機能の設定	桁数を付加しない
*ヘッダーキャラクタの設定	ヘッダーキャラクタ無し
*ターミネータキャラクタの設定	CR / LF ※但し、キーボードウエッジ、USB キーボードウエッジインターフェイスの場合は ENTER となります。

設定項目	初期設定値
<b>カメラ コントロール</b>	
露光モードの設定	自動モード1
<b>読み取りコードの選択</b>	
<b>EAN/UPC/JAN の設定</b>	
EAN/UPC/JAN の読み取り	有効
アドオンコードの読み取り	無効
UPC-A、UPC-E の読み取り	無効
<b>CODE39 の設定</b>	
CODE39 の読み取り	有効-CD無しの読み取り
COD39 フル ACSII の読み取り	無効
桁数チェック	フリー
最小桁数	001
最大桁数	255
スタート/ストップコード送信	無し
<b>CODE 32 の設定</b>	
CODE 32 の読み取り	無効
<b>2 / 5 の設定</b>	
インターリーブド 2/5 の読み取り	有効-CD有り 送信許可
桁数チェック	フリー
最小桁数	014
最大桁数	255
<b>CODABAR(NW7) の設定</b>	
CODABAR の読み取り	無効
桁数チェック	フリー
最小桁数	001
最大桁数	255
<b>CODE 128 の設定</b>	
コード 128 の読み取り	有効
桁数チェック	フリー
最小桁数	001
最大桁数	255
<b>EAN 128 コードの設定</b>	
EAN128 コードの読み取り	無効
桁数チェック	フリー
最小桁数	001
最大桁数	255
<b>CODE93 の設定</b>	
CODE93 の読み取り	無効
桁数チェック	フリー
最小桁数	001
最大桁数	255

<b>GS1 DataBar コードの設定</b>	
GS1 DataBar Expanded の読み取り	無効
GS1 DataBar Limited の読み取り	無効
GS1 Databar Ominidirectional コードの読み取り	無効
GS1 DataBar Expanded Staked の読み取り	無効
GS1 DataBar Stacked の読み取り	無効
<b>PDF417 の設定</b>	
PDF417 の読み取り	有効 (Macro PDF417 Buffered Mode)
<b>Micro PDF417 の設定</b>	
<b>Data Matrix コードの設定</b>	
Data Matrix の読み取り	有効
Rectangular Style	有効
最小桁数	0001
最大桁数	3600
<b>QR コードの設定</b>	
QR コードの読み取り	有効
<b>郵便コードの設定</b>	
ホスタルコードの読み取り	無効
<b>マキシコードの設定</b>	
マキシコード モード 1	無効
マキシコード モード 2	無効
マキシコード モード 3	無効
マキシコード モード 4	無効
マキシコード モード 5	無効
マキシコード モード 6	無効
<b>コンポジットコードの設定</b>	
コンポジットコードの読み取り	無効

<b>リーディングパラメータの設定</b>	
トリガースイッチの動作モード設定	レベルモード
トリガースイッチの設定	ハードウェアトリガースイッチ
LED ON 時間の設定	2 s
LED OFF 時間の設定	2 s
ブザー音程の設定	音程 1
ブザー音量の設定	ブザー音(大)
ブザー音の長さの設定	50 ms
読み取りサイクルの設定	シングルリーディング
スキアンタイムアウトの設定	5 s
ポインターと LED 照明点灯までの間隔設定	無効
読み取り完了時のグリーンスポット光の点灯時間設定	点灯無し
<b>読み取りコードの出力順番設定</b>	
CODE PER SCAN 設定	One Code per Scan 設定
桁数によるデータ出力の順番設定	無効
コードの種類によるデータ出力の順番設定	無効
<b>自動スキャンの設定</b>	
自動読み取りモード	無効
自動読み取り用スタンドでの自動読み取りモード	読み取りスタンドモードの有効
セーフティタイマー時間の設定	500 ms .(但し、自動スキャンモードが有効か又はソフトウェアモードが有効で、尚且つ読み取りサイクルの設定が有効である事が前提です。)